



平成 21 年 8 月 11 日

各 位

会社名 株式会社ピクセラ
代表者名 代表取締役社長 藤岡 浩
(コード番号 6731 東証第1部)
問合せ先 専務取締役 池本 敬太
(TEL 06-6633-3500)

第 28 期(平成 21 年 9 月期通期)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 12 月 10 日付で公表いたしました平成 21 年 9 月期(平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 21 年 9 月期通期の業績予想の修正
(平成 20 年 10 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

【連結業績予想】

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,228	△286	△370	△609	△55.24
今回修正予想 (B)	5,148	△1,071	△1,394	△1,345	△123.23
増 減 額 (B-A)	△1,080	△785	△1,024	△736	△67.99
増 減 率 (%)	△17.3	—	—	—	—
ご参考：前期通期実績 (平成 20 年 9 月期)	6,541	△1,902	△2,405	△2,392	△219.18

【個別業績予想】

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,112	△146	△228	△439	△39.85
今回修正予想 (B)	4,904	△837	△1,407	△1,090	△99.89
増 減 額 (B-A)	△1,208	△691	△1,179	△651	△60.04
増 減 率 (%)	△19.7	—	—	—	—
ご参考：前期通期実績 (平成 20 年 9 月期)	6,127	△1,709	△1,843	△2,504	△229.46

2. 修正の理由

通期の業績につきまして、平成20年12月10日に公表いたしました予想を下回る見込みとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

修正の主な理由は以下のとおりであります。

パソコン周辺機器の分野におきましては、主力であるパソコンでテレビの視聴・録画ができるテレビキャプチャーボードのOEM販売が、ネットブックと呼ばれる安価で小型のノートパソコンへの消費者需要の集中により、主要搭載機種であるデスクトップパソコンの出荷が大きく伸び悩んだ影響により、大幅な減収となる見込みです。

一方、デジタル家電の分野におきましては、地上デジタル放送への完全移行まで2年を切り、今後需要が拡大すると見込まれる地上デジタルチューナーの増産を第4四半期に予定しており、増収を見込んでおりますが、一部生産の遅れにより計画を下回る見込みとなりました。そのほかソフトウェアロイヤルティ、受託開発は堅調に推移する見込みです。

これらの結果、売上高は予想を下回る見通しとなりました。

また、損益面につきましては、上記の減収によるものにくわえ、主力製品であるテレビキャプチャーボードの単価の下落、他の分野に比べ利益率の低いデジタル家電分野の売上構成比が急伸することのほか、経費面において前期より実施しております合理化計画等の効果により大幅な経費の圧縮を達成したものの、計画を若干上回る見込みであることから、営業利益、経常利益、当期純利益とも予想を下回る見通しとなりました。

ほか経常損失および当期純利益に関し、当初、特別損失に見込んでおりました持分法適用関連会社である株式会社 RfStream への貸付金に対する貸倒引当金を営業外費用に計上する変更に伴い、当期純損失に比べ経常損失の減少額が大きくなっております。

なお、第3四半期の業績の詳細につきましては、本日（平成21年8月11日）別途公表の平成21年9月期第3四半期 決算短信をご参照いただきますようお願い申し上げます。

※本資料に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、業況の変化等により、前記予想数値と異なる場合があります。

以上